

Editor's Choice

今月の編集部オススメのソフト&ハード

今月のおすすめは、TAとDSUを内蔵したデジタル電話機「ALION」、1台でルーターとTA両方の機能を併せ持つ「MN128-SOHO/DSU」、通信コストの削減に配慮した多機能TA「PCLINK TA322DSU」、ダイヤルアップユーザーでも手軽にメーリングリストが運営できるソフト「E-MailClub」、ページを先読みすることで待ち時間を減らしてくれる「インターネットアクセラレータ」だ。

今月のラインナップ

TAを搭載したISDN用電話機

ALION(HD-1000)

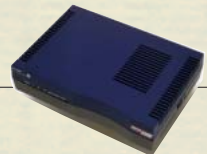
[開発元] 岩崎通信機株式会社



10Base-Tポートを3つ内蔵したルーター機能付き低価格TA

MN128-SOHO/DSU

[開発元] 株式会社ビー・ユー・ジー



64Kと128Kを接続単位時間をもとに適切に切り替えるTA

PCLINK TA322DSU

[開発元] 沖データ株式会社



メーリングリストがダイヤルアップ接続で管理できる

E-MailClub

[開発元] 株式会社アドミラルシステム



ページを先読みしてアクセス時の待ち時間を低減

インターネットアクセラレータ

[発売元] 住友金属工業株式会社



このコーナーの見方



付録のCD-ROMに収録



市販の
ハードウェア製品



市販の
ソフトウェア製品



シェアウェアの
ソフトウェア



フリーウェアの
ソフトウェア



ウィンドウズ95用



ウィンドウズ3.1用



ウィンドウズNT用



OS/2用



マッキントッシュ用



UNIX用



動作環境



発売元



電話番号



価格



関連情報



バージョン



作者/開発元



入手先



付属品



ファイルサイズ/
最速転送時間

[注]「最速転送時間」とは、28800bpsのモデムを使って圧縮なしでファイルを転送した際の、理論上で最速の転送時間を意味します。ダウンロードするときの目安としてください。ファイルサイズ(バイト)×10÷28800で計算しています。端数は切り上げています。



TAを搭載したISDN用電話機

アリオン

ALION(HD-1000)

¥ 198,000円
(本体+子機1台)

岩崎通信機株式会社

ここがスゴイ!

- ① ホームテレホンとして使える多機能さ
- ② TA、DSUも内蔵なので、これ1台でインターネットがOK
- ③ 停電対策も万全

おすすめ度

[ユニークさ]
[コストパフォーマンス]
[使いやすさ]
[期待度]
[総合]

「ついに出るべくして出た」。まさにそんな言葉が似合う新しいコンセプトのデジタル電話機ALIONが岩崎通信機から発売された。TA、DSU内蔵、RS232Cポートを持ち、アナログFAX機対応、PHS子機(mujo BOY)7台まで使用可能、留守番電話、ドアホン対応...。ALION という名がALL IN ONE からの造語だということに、思わず納得させられるこの多機能さは、ISDN時代のデジタル電話機にふさわしい意欲的な製品だ。

▶ 唯一のデジタルホームテレホン

INSネット64の新規契約数が一般電話回線のそれを上回ったのは昨年のこと。インターネットを引き金に始まったISDN化は、今年は電話機をも巻き込んだより本格的なものになるのではという手応えがある。しかし、肝心のデジタル電話機はNTTのS-1000以外にほとんどない状態だ。ALIONは単なるISDN対応電話機というレベルを超え、ホームテレホンとしての機能をふんだんに盛り込んだ、初めてのデジタル電話機だ。PHSとしても使える子機mujo BOY DC-PS4(G)は、4台までそれぞれに異なるダイヤルイン番号を設定できるし、もちろん室内ではコードレスのデジタル子機として活躍。FAXポートにはアナログFAX機を接続できる。また、工事が必要になるが、ドアホンの設置も2台までできる。留守番電話、内線転送などの機能に加えて、ISDN特有の着信転送、通話料金表示など数を挙げきれないほどの機能に圧倒される。

試用レポート

▶ インターネット接続も簡単

付属のケーブルとフロッピーディスクで、インターネット接続の設定も簡単だ。128Kbps通信のマルチリンクPPPの機能はないが、同期64Kbps、非同期38.4Kbpsの設定が用意されており、問題なく接続できた。マニュアルにも、接続方法がやさしく書かれているので、初心者でも大丈夫だ。

▶ 停電対応も万全

ISDNで気になるのが停電対策。電池を入れること

で停電対策と称する製品も多いが、阪神大震災のような大規模な災害では電池などあつという間に使えなくなってしまう。NTT回線が復旧したときにすぐに電話を使うには、NTTが電話線で供給する「局側給電」での動作が不可欠だ。ALIONは、停電時にも局側給電さえあれば電話としての基本機能は動作するように作られているので安心だ。

▶ 電話機の設定は少々面倒

残念なのは、電話機の設定のややこしさだ。キーもたくさん付いているし、液晶表示も2行×16桁のものがあるにもかかわらず、ややこしいキー操作を強いられる。できれば、マニュアルを見なくてもある程度設定できるように階層メニューにしてもよかったのではないかと感じた。日常的に使う部分ではないのがせめてもの救いだ。実際には、パソコンを接続しての利用が圧倒的だろうから、パソコンからメニュー形式でこれらの電話機の機能が設定できると便利だ。特に、短縮ダイヤルの設定などはせっかくパソコンがあるのだから、そちらで管理したいというのは当然の要望だろう。

▶ ターミナルアダプターと電話機の融合

このALIONをきっかけに、ターミナルアダプターと電話機の融合はますます進むものと思われる。そんな流れの先陣をきった形となったALIONは、今後の展開が期待できる製品だ。なおメーカーによると、ここで挙げた問題点を含めて、ファームウェアのバージョンアップなども検討されているということなので、この記事が出る頃にはさらにパワーアップしている可能性もある。(梅垣まさひろ)



①DSUやTAも入って外形寸法 245×228×85mmは、決して大きいとはいえないだろう。PHSとしても使える子機が1台付属する。



②左からACアダプター、RS232Cポート、FAX端子、ISDN端子、リセットボタン。

ALION

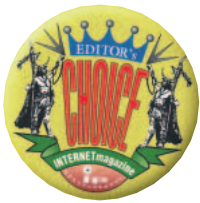
岩崎通信機株式会社

198,000円
(本体+子機1台)

0120-01-8230

モジュラーケーブル、ACアダプター、壁掛け金具、スタンド、RS232Cケーブル

http://www.iwatsu.co.jp/topics/alion/alion.html



株式会社NTTテレコム
エンジニアリング東京



69,900円(DSUなしの
MN128-SOHOは59,800円)



10Base-Tポートを3つ内蔵したルーター機能付き低価格TA

エムエヌイチニツパ ソーホー/ディーエスユー

MN128-SOHO/DSU

ここがスゴイ!

- 1 充実したTA機能にルーター機能が加わっても低価格
- 2 PIAFS対応でPHSからPPP接続もするアクセスサーバーとしても利用できる
- 3 WWWを使った簡単設定、10Base-Tポートを3つ内蔵など、買ってすぐ使える機能満載

おすすめ
の
度

[ユニークさ]
[コストパフォーマンス]
[使いやすさ]
[期待度]
[総合]



①外形は223 x 158 x 50mmで、A5サイズのノートから縦横が少しはみ出す程度の大きさ。前面の点はデザインだが、上部と底の一部が通風口になっているため、他の発熱する機器に積んで使用することは避けたほうがいだろう。

インターネット用に新しくターミナルアダプターを買うとき、最近ではその選択肢に低価格ルーターを入れる人も増えてきたと思う。TAで接続するケースはまだあるし、ルーター接続もしてみたい。しかし、もう迷わなくてもすみそう。MN128-SOHOは、ISDNのTA機能とISDN / OCNエコノミー / 専用線対応のルーターの機能を備えた新しいタイプの通信機器である。

ができるのもよい点だ。

▶ アナログポートは2つ

アナログポートにはアナログ電話、ファクシミリ、モデムなどが2台まで接続でき、各々にダイヤルイン番号(最大4つ)を割り当てたり、内線通話、内線転送、登録した電話番号に対応させてベル音のパターンを変える機能を使える。もちろん、NTTのフレックスホン / ボイスワープ / 発信者番号通知サービスにも対応している。また、マルチアンサーという独自機能で、キャッチホンサービスのように通話中に他の通話に出ることができる。アナログ関連の機能は最近のTAと比べても見劣りしない。停電時の対応では、本体底部分の蓋をはずすと現れる電池ボックスの単3電池8本により、アナログ電話の発信が可能になる。乾電池利用とはいえ停電時に電話が通じない不安から解放されるのはうれしい。しかもこれらのアナログ関連の設定は、接続した電話機のダイヤル操作で行える。

▶ ルーターも使ってみてみたい人に

DSUを内蔵するタイプと備えていない2つのタイプがあり、内蔵タイプは、部屋に設置されたモジュラージャックとモジュラーケーブルで接続する。2つあるS/T点コネクタには、本機以外にTA、ISDNカード、デジタル電話などの機器を接続することができる。DSUなしタイプでは、DSUのコネクターから延びたモジュラーケーブルをS/T点の片側に接続する。この場合でも、もう一方のS/T点にISDN対応機器をつなぐことができ、使い勝手がよい。S/T点コネクタの数が1つと2つとでは大きな違いだ。

DSUを設置する場合に、しばしば、つながった、つながらないと問題となるU点の極性だが、極性反転スイッチによって切り替えることができるので、ほとんど悩まずにすむ。引越して、新たにISDNを引く場合でも、ほかに極性を入れ替えるケーブルやアダプターなどの部品が必要ないのがうれしい。さらに、S/T点でも通常はバス接続の最終端に終端抵抗を設置する手間がかかるが、終端抵抗スイッチが付いているため、バス接続の最後になったときはスイッチをONに切り替えるだけでよい。INSネット64の工事が済んでいけば、ものの5分で設置が終わってしまう。付属品だけで設置

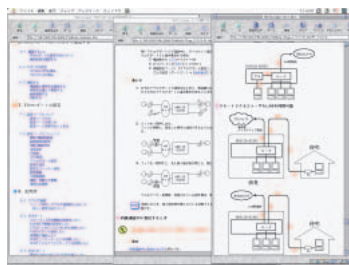
▶ 親切的な付属品

コンピュータとの接続は、RS232Cポート経由とイーサネット経由の2通りがある。基本的には、TAとして使うにはシリアルポートを介して接続し、ルーターとして使う場合はイーサネットでコンピュータに接続する。RS232Cポートを使う場合に必要となるモデムケーブルは付属し、PC-98シリーズやマッキントッシュも付属のアダプターとモデムケーブルを併せて対応させることで、DOS/V、PC98シリーズ、マッキントッシュのいずれのコンピュータでも利用できる。異機種を所有するユーザーにとっては便利な付属品である。

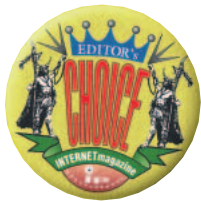
試用レポート

▶ ルーターながら充実のTA機能

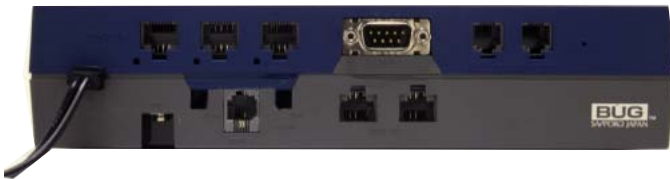
TAとしてはDTE速度が230.4Kbpsまで対応しているため、プロバイダーと128Kbpsで接続しても余裕がある。通信プロトコルとして、非同期で38.4KbpsまでのV.110、同期で64Kbpsや128Kbpsでの接続が可能なHDLC、対応PHSと32Kbpsデータ通信を行うPIAFSをサポートする。さらに、同期 / 非同期PPPの相互変



②WWWブラウザに表示されるオンラインマニュアル。



① (上)左から、10Base-Tポート3つ、RS232Cポート、アナログポート2つ、リセットスイッチ。(下)左から、アース端子、極性反転スイッチ、ISDNポート、終端抵抗切り替えスイッチ、S/T端子2つ。



換機能「AutoPPP」や128Kbpsで通信するMPに対応した「AutoMP」、データ通信の帯域幅を要求に応じて制御するBACP対応の「AutoBACP」、無手順非同期の通信を64K/128Kbpsの同期通信に相互変換する「AutoPAD」、64K/128KbpsでのApple Remote Access接続をサポートする「AutoARA」などが備わっている。そのほか、Dチャンネルで行うパケット通信X.25にも対応している。制御コマンドにはHayes互換のATコマンドが使える、パケット通信を行うときにX.28コマンドも利用できる。

アナログサポート、TA機能の充実、ルーターとしては特筆すべきもので、他の追随を許さない。この部分は同社の最新TA「MN128-V3」と100%の互換性があるということなので、その充実ぶりはもったもな話である。そのためTA機能の設定はMN128-V3同様、RS232Cポート経由で接続されたウィンドウズやマッキントッシュから専用ソフト「MNマスター」を使って対話的に行うことができる。

イーサネットでの接続には3つある10Base-Tポートでコンピュータと接続する。家庭内のパソコンをインターネットにつなぐには十分な数であるが、4台以上ある場合はハブを別途購入して接続することになる。

ルーターとしては、グローバルアドレスとローカルアドレスを対応させるNAT機能や、1つのグローバルアドレスを複数のローカルアドレスで共用するIPマスカレード機能をサポートする「AutoNAT」、256個のアドレスを割り当てられるDHCPサーバー機能、ローカル側のDNSとインターネット接続時のDNSを使い分ける「DNSリレーエージェント」、遠隔地からのPPP接続をサービスする「リモートアクセスサーバー」、シリアルポート経由でPPPを使うパソコンをあたかもEthernet上に見えるように見せる「ローカルアクセスサーバー」などの豊富な機能を備える。

▶ WWWブラウザから簡単設定

設定は至ってシンプルだ。本機をISDNに接続して、10Base-Tポートにケーブルをつないでパソコンと接続する。続いて電源を入れ、パソコンでDHCPサーバーからIPアドレスを取得する設定を行う。WWWブラウザを起動して「http://192.168.0.1/」にアクセスすると、MN128-SOHOの設定ページの1ページ目「クイック設定」が見れるので、プロバイダの電話番号、ユ

ーザーID、パスワードの3つを入力して設定ボタンをクリックするだけで完了だ。あとは、アクセスしたいURLを指定すれば、自動的にプロバイダヘダイアルアップし、接続を開始する。利用後、一定時間データの送受信がないと自動的に切断を行う。もちろん、詳細な設定をして自分に合った使い方をすることも可能だ。MN128-SOHOの設定ページでは、アドレス/ポート番号/パケットタイプ/送受信などの条件によりフィルタリング設定、接続時にMP・BACPを有効にする/しないの設定、リモートアクセスの利用者設定といったより詳細なルーター設定やTAの設定、アナログポートの設定をWWWブラウザから行い、マニュアルもHTMLファイルで提供されるため、マニュアルを読みながらの設定に便利である。

▶ PIAFSやOCNにも対応

瞬時にダイアルアップ接続が行え、ストリーミングビデオを動作させても、128Kbpsならとてもスムーズに動く。10Base-Tポートにつないだ3台のパソコンで同時にWWWにアクセスしてもまったくストレスはない。TAのテストでARAサーバーに接続を試みたが呆気ないほどあっさり接続した。MN128互換だけあって、既存のTAとの接続には問題は感じない。また、TA部とルーター部は同時に機能する。FTPなどを行うときに128Kbps(2チャンネル)になり、電子メール程度なら低コスト的な64Kbps(1チャンネル)になるので、速度と経済性の両立が図れそうだ。アナログ機能が充実し、TA、ルーターとして使え、設定管理をするコンピュータを選ばず、PIAFS用のTAPとして使え、PPPアクセスサーバーとして利用でき、専用線やOCNエコノミーへ移行しても対応でき、低価格となれば、今のところは競合製品がない。ISDNを引いていて、将来的にはOCNの導入や複数のコンピュータをつなぐことを考えている人には特におすすめできる。

(菊地宏明)

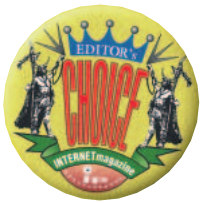
② 簡単な設定画面。WWWブラウザ上でいきなり設定ができる。



③ アナログ通信の設定画面。

MN128-SOHO/DSU

- 株式会社NTTテレコム
エンジニアリング東京
- 69,900円 (DSUなしのMN128-SOHOは59,800円)
- 0120-128037
- 株式会社ビー・ユー・ジー
TEL 03-3486-6710
- ISDNケーブル、10Base-Tケーブル、RS232Cケーブル、RS232C変換コネクタ (PC98、MAC用)
- http://www.sphere.ad.jp/te-tokyo/soho_topics.htm
- http://www.bug.co.jp/mn128/sohoindex.html



46,800円



株式会社沖データ



表示も日本語で
わかりやすい



64Kと128Kを接続単位時間をもとに適切に切り替えるTA

ピーシーリンク TA322DSU

PCLINK TA322DSU

ここがスゴイ!

- 1 先進のiBOD機能で、64K/128Kを自動切り替え
- 2 ISDNを徹底活用するテレフォニー機能満載

おすすめ度

- [ユニークさ]
- [コストパフォーマンス]
- [使いやすさ]
- [期待度]
- [総合]



1 上から、アナログポート2つ、電源スイッチ(左)、RS232Cポート(右)、S/T端子、ISDN端子。

TAメーカーの老舗(株)沖データから、多機能なターミナルアダプターPCLINK TA322DSUが発売された。インターネットでもアナログのテレフォニー機能でも、考えうるありとあらゆる機能を網羅的に取り込んだ、まさに怪物ターミナルアダプターの出現だ。

▶ 拡張性は申し分ない

2台目のターミナルアダプターやデジタル電話機をつなごうとして、はたと困ることがある。近頃のターミナルアダプターはDSUを内蔵しているものがほとんどだが、S/T端子がないものや、S/T端子はあってもDSUが切り離せないなど不便なものも少なくない。その点は、このTA322DSUではまったく心配ない。S/T端子も標準で付いているし、DSUの切り離しも問題ない。

試用レポート

▶ iBOD で常に適切な回線速度

iBOD(Intelligent Bandwidth On Demand)は、データ量と接続単位時間をもとに最適な通信速度を割り出し、BACP/BAPの機能により回線の64K/128Kbps切り替えを自動的に行う仕組みだ。FTPなどで一気にデータ量が増えると128Kbpsの状態になり、データの流れが止まると自動的に64Kbpsになるという具合だ。しかもこの機能は、通常の通信速度を検出して、過度な切り替えを行わないようにそのタイミングを学習す

る。たとえば、通常の通信速度がユーザーの設定した64K/128Kbps切り替えタイミング(通信速度)に届かないほど遅い場合はその設定速度を自動的に引き上げ、逆に通常から遅い場合は引き下げるわけだ。また、64K/128Kbpsの切り替えタイミングも課金単位時間(昼間なら市内で3分間)を意識して行われるため無駄がない。BACP/BAPに対応したプロバイダーなら、これらの機能を余すところなく活用できるのだ。もちろん通常のPPP接続でも、非同期38.4K/57.6Kbps、同期48K/56K/64K/128Kbpsと、おおそ考えられる通信速度はすべて網羅されている。

▶ テレフォニー機能も充実

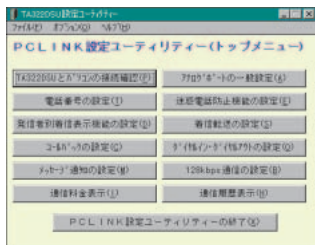
これまでにない新しい機能として「ダイヤルイン・ダイヤルアウト」がある。これは、出先からPHSやISDN公衆電話などから自宅のTA322DSU経由で電話をかける機能だ。自宅の回線経由なので、PHSでは利用できないフリーダイヤルや国際電話などがかけられるし、長距離通話も自宅経由ならPHSより安い一般の加入電話の通話料(+自宅までのPHS通話料)になる。また、「ステルスボイスワープ」機能はNTTとの契約なしに電話をスムーズに転送するもので、転送がうまくいかない場合には通信料金がかからない。このほかにも、110/119番へのダイヤルを優先する「特番優先機能」、きやらメール/ボケベル対応、擬似キャッチホン、アナログ電話でもコールバックを可能にする「アナログコールバック」機能など、テレフォニー機能の充実ぶりは枚挙にいとまがない。

▶ 気になる停電対策はなし

致命的とはいえないが、停電対策はされていない。DSU部分も電源の供給なしでは動かないので、どうしても気になるようなら、たとえば、停電時にも通話できるNTTのS-1000などのデジタル電話機と、外付けDSUを用意する必要があるだろう。

PCLINK TA322DSUは、これからの第三世代のターミナルアダプターが備えるべき機能がキッチリとまとめられた製品だ。停電対策がないこと以外にこれといった欠点が見つけれなかったのは、やはりこの製品の水準の高さを示しているといっていよう。

(梅垣まさひろ)



1 ボタンの多さが多機能さを表している。「TA322DSU 設定ユーティリティ」。

PCLINK TA322DSU



株式会社沖データ



46,800円



03-5445-6110



株式会社沖テック



ISDNケーブル、RS232Cケーブル、スタンド



http://www.okidata.co.jp/



http://www.otec.co.jp/PCLINK/index.html



メーリングリストがダイヤルアップ接続で管理できる

Eメールクラブ

E-MailClub



5,800円



アドミラルシステムズ

ここがスゴイ!

- ①ダイヤルアップ接続の人でもメーリングリストができる
- ②UNIXの知識が不要

おすすめ度

- [ユニークさ]
- [コストパフォーマンス]
- [使いやすさ]
- [期待度]
- [総合]



ダイヤルアップ接続だけで、しかもUNIXの知識をまったく必要としないメーリングリスト管理プログラムE-MailClubには、ちょっとした仲間同士の連絡用としてメーリングリストの役割を果たすだけの十分な機能がある。今あるメールアドレスだけで、すぐにメーリングリストができてしまう手軽さを徹底的に追求した設計には脱帽だ。

▶ 小難しい知識は捨てて、とにかく楽しむ

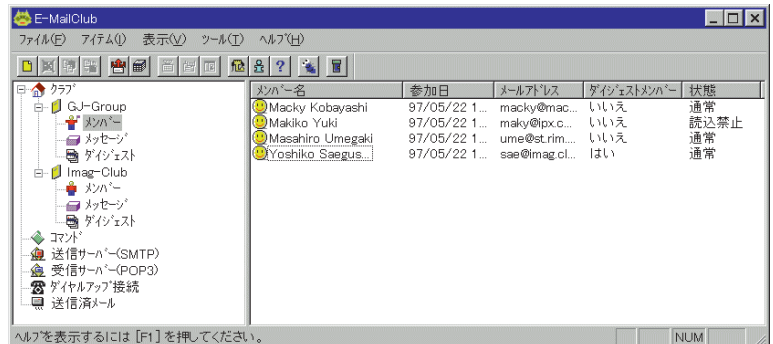
Majordomo, distribute, fml...メーリングリストを管理するプログラムはどれも高機能だが、UNIX、perl言語など専門的な知識がどうしても必要になってしまう。しかも、これらのプログラムを動かすためには、インターネットと常時接続されたUNIXサーバーも必要だ。プロバイダーのメーリングリスト開設サービスを利用する手もあるが、メーリングリストをいくつも作るにはお金がかかるし、申し込みが面倒。せっかくメーリングリストを開設して楽しみたいけど、そのハードルは思いのほか高い。「面倒な手続きも小難しい知識も不要でメーリングリストが持てるとしたら？」そんな発想で生まれたメーリングリスト管理プログラムがこのE-MailClubだ。当然、ダイヤルアップ接続のユーザーのこともキチンと考えて作られている。このソフトがあれば、管理の煩わしさを忘れ、とにかくメーリングリストを楽しむことができそうだ。

▶ 今あるメールアドレスでもOK!

E-MailClubは、1つのメールアドレスをメーリングリストとプライベートなメールとで使い分けることができるので、メールアドレスが1つあれば準備はOKだ。メールサーバーに溜まったメールの中から、E-MailClubに登録したタイトル文字列を含むメッセージだけを取り出して処理して、そのほかのメールはE-MailClubで処理したあとに普段使っているメールソフトを使って読み出すわけだ。メーリングリストのメッセージかどうかを判断する方法は、メールのタイトル(Subject)に、

[mag-club] テストのメール

などという風に、「[メーリングリスト名]」というような文字列があるかどうかで判断する。メーリングリスト参加者は、この文字列をタイトルに書き込むだけでよい。ただ、E-MailClubでメールを取りこむ前に、普段使っ



ているメールソフトでメールサーバーにアクセスすると、メーリングリスト宛てのメールまで読みこんでしまうので注意が必要だが、メーリングリスト専用に使えメールアカウントがあればこのような心配もいらぬし、タイトルでの判別をしなくてもいい。

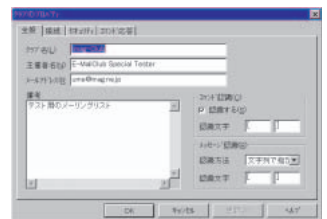
▶ 最低限必要な機能を網羅

「クラブ送受信スケジュール」の機能を使えば、定期的にダイヤルアップ接続でメーリングリストの配信ができる。あまり頻繁に接続するようにしてしまうと、通信コストがかさむが、テレホーダイをうまく活用すれば問題ないだろう。もちろん、メーリングリストによくあるリポートコマンドも処理できる。メーリングリストに参加するsubscribe、退会のunsubscribeはもちろん、ダイジェスト配信のdigest、undigest、過去のメッセージを取り寄せるget、そのほかにもwho、help、infoなどメーリングリストにはツキモノのコマンド類は網羅されている。また、セキュリティ上の理由から、それらのコマンドを使えなくすることも簡単だ。

▶ 「クラブ」として使おう

確かに、大変便利なメーリングリスト管理プログラムだが、すでに述べたようにダイヤルアップの場合は通信コストがかさむ。常時接続なら問題はないが、ダイヤルアップの場合はオープンで大規模なメーリングリストを開設するのはやめたほうがいいだろう。仲間内の連絡などに使うクローズドなメーリングリストで使うのに向いている。オープンなメーリングリストは専用サーバーで、手軽な「クラブ」はE-MailClubでというような使い分けがおすすめだ。(梅垣まさひろ)

①設定は、すべてこのメインウィンドウから可能。操作はエクスプローラに似ている。



②「クラブのプロパティ」画面。この画面でメーリングリストの設定を行う。

E-MailClub



アドミラルシステムズ



048-259-5111



5,800円



http://email-club.admiralsys.com/



ページを先読みしてアクセス時の待ち時間を低減

インターネットアクセラレータ



5,800円



住友金属工業株式会社

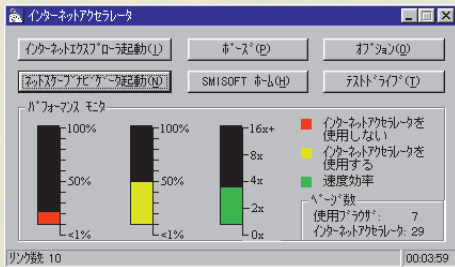


ここがスゴイ!

- 1 28.8Kbpsで体感速度最高2倍
- 2 プロキシ以外設定不要の簡単セットアップ

おすすめ度

- [ユニークさ]
- [コストパフォーマンス]
- [使いやすさ]
- [期待度]
- [総合]



1 パータイプのインジケータは左からインターネットアクセラレータ使用時の通信パフォーマンス、未使用時、未使用時に対する使用時の速度アップ率。

インターネットアクセラレータは、あるページを読んでいるときに、そのページにあるリンク先を先読みしてキャッシュしておき、ユーザーがそのリンク先をクリック（アクセス）したときにキャッシュから読み出すことで、表示速度と通信効率をアップさせるソフト。機能がたったひとつに絞られているため、ハードディスクやシステムリソースにもほとんど負担をかけないし、設定や使用方法もいって簡単だ。

いずれも使用できる。

試用レポート

▶ 28.8Kbpsでの体感速度は最大2倍くらい

パッケージには「12倍速 驚異的な加速感」と書かれているが、実際にはどうだろうか。ソフト付属の機能であるパフォーマンステストを行ってみたところ、28.8Kbpsでso-netにダイヤルアップ接続して(株)田宮模型のトップページから、1ページの切り替わり時間60秒で5分間アクセスという設定でテストを繰り返したところ、インターネットアクセラレータ使用時は35ページ読み込み、未使用時は6ページ読み込みと、6倍近い「読み込み速度」を記録した。

次に、実際にページの内容を読みながらテキストが多いページやグラフィックが多いページ、リンク先が多いページや少ないページと、対象を変えて試してみたところ、28.8Kbpsのダイヤルアップ時で体感速度は最大2倍くらいで、「ISDN64Kbpsに近い速さかもしれない」と思うこともあったが、平均すると「ん〜、ちょっと速くなったかな」という印象だ。

ISDN64Kbpsで同じの使い方をしてみたところ、やはり体感速度は、平均すると「変化なし~1.2倍」くらいだった。ただし、筆者がページ内容を読む時間が変わらないのに、回線が速い分だけ時間当たりの読み込みデータ量が増えるため、28.2Kbpsのときよりスムーズにネットサーフィンできる感じだ。

また、編集部の専用線(11Jに6Mbpsで接続)での体感速度は、「変化なし~1.2倍」といったところ。この場合、元の回線が太いため、接続さえしてしまえば読み込みと表示も速く、わざわざキャッシュしなくてもストレスがなかったからだろう。

ただ、28.8Kbpsの場合には、リンク先が少なく文字が多いページから大きなグラフィック(データ)のあるページに飛んだときには、速さをかなり実感できた。つまり、「文字が多い 読む時間が長い 先読みする時間が長い 大きな(または多くの)データをキャッシュできる」というわけだ。

考えてみると仕組みは単純で機能も単一。なぜこのようなソフトがなかったのかが不思議だ。まさにアイデア一本勝負! のソフトである。

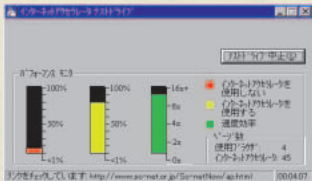
(編集部)

▶ 簡単セットアップで即利用可能な簡便さ

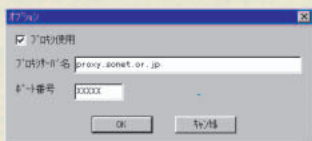
ダイヤルアップ接続でのネットサーフィンでは、多くの読者は電話代節約のために「必要な部分をダウンロードして、接続を切ったあとに読もう」と、一度は考え、そして実行できずにそのまま読んでいるのではないだろうか。そして、リアルタイムでページを読み、その中のリンク先に飛ぶときの時間がまたもどかしいと思っているはずだ。インターネットアクセラレータは、まさにこのような使い方をしている人におすすめしたいソフトだ。

このソフトは、あるウェブページにあるリンク先のデータを、ユーザーがそのページを読んでいる、つまりモデムが休んでいる(データのやり取りが行われていない)時間に先読みしておいてくれるソフトなのだ。先読みしているから、ユーザーがリンク先をクリックすると、データはインターネットではなくキャッシュから読み込まれる。当然、表示速度は速くなる。また、従来は電話代を払ってしながら通信が行われていない時間にデータをやり取りしているから、計算上は電話代も安くなる。もちろん、快適になった分だけネットサーフィンの時間が増えれば、その限りではないが。

ソフトのインストールは、最近のアプリケーションソフトとしては標準的なもので、オートスタートでインストールするディレクトリを選択するだけ。使用前の設定も、プロキシ設定だけの簡単さだ。あとは、ダイヤルアップの場合はプロバイダー、専用線接続の場合はネットワークに接続したのちにインターネットアクセラレータを起動し、ブラウザを選択すればいい。ブラウザはネットスケープ・ナビゲーター(3.0以上)、インターネット・エクスプローラ(3.0以上)のい



1 パフォーマンステストでは最大12倍程度まで効率アップする。



1 設定はプロキシの設定のみ。

インターネットアクセラレータ



住友金属工業株式会社



IMSI社



5,800円



03-5476-9825



http://www.smisoft.sumikin.co.jp/ut/



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp